

「さあ、漕ぎ出そう 奏でよう」

「わたしがどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」
トマスが言った。「主よ どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうしてその道を知ることができるのでしょうか。」
イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを導かなければ、だれも父のもとに行くことができない。」
ヨハネによる福音書14章4～6節

部会だより

キリスト教
保育連盟
神奈川部会

2024年8月20日
第145号



「見よ、
わたしはあなたと共にいる」

認定こども園 捜真幼稚園
副園長 岡野 きよみ

キリスト教保育指針二〇二四年改訂版が発行されたことを受け、皆様の園でもキリスト教保育とはと問いつつ、保育を進めていこうとすることです。

自園では、月刊キリスト教保育誌を保育者全員に配布し、カリキュラム作成時にはキリスト教保育誌のカリキュラムを土台に据え、一部を読み合った上で語り合い、保育計画に落とし込むことをしております。週一度行う礼拝のお話は牧師兼理事長だけでなく、保育者全員が持ち回りで担っています。ありがたいことに、ノンクリスチヤンの保育者が牧師に相談できる環

◆ 聖句 ◆

見よ。
わたしはあなたとともにあり、
あなたがどこへ行っても、
あなたを守り、
あなたをこの地に連れ戻そう。

創世記28章15節 新改訳

境や、牧師による毎月の聖研も良き学びの時となっております。

この様に学ぶ時を持っていますが、実際のところ保育にどの様に落とし込むことができるのか、日々悩むことも多いものです。改訂版キリスト教保育指針第一部Ⅱ章キリスト教保育とその目指すもの、キリスト教保育の願いに【二】に「今を生きる」姿勢を子どもと共に大切にしたい【三】に実践から学び続ける姿勢を大切にしたい【二】との文言が加わりました。そのことを踏まえ、過去の常識や園の伝統よりも、今何をすべきか問いたコロナ禍の経験を存分に活かし、目の前の子どもと共に今を生きることを大切にし、子どもから学びつつ丁寧に実践したいと思いを新たにいたしました。

しかし神さまは「見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたがこの地に連れ戻そう」との御言葉にあるように、今この時も、悩みの中にある私たちを神さまは共にいる平安な場所へと連れ戻そうとしてくださっています。一、二歳児でさえ神さまを信頼し、祈って欲しいとリクエストしてくれます。幼子のように素直にイエスさまの愛を受け入れ信頼し、保育を紡いでまいりますよう。

自園でもコロナ禍の祈祷会は、聖句断想を読み祈ることしかできませんでしたが、コロナ禍明けノンクリスチヤンの保育者からの讚美歌リクエストで、以前の祈祷会が復活しました。御言葉と祈りと賛美によって心一つに、神様に委ね保育に押し出してもらえ心安定は、キリスト教保育を担う保育者ゆえ味わえる恵みです。キリスト教保育連盟神奈川部会での交わりが、皆様にとっても豊かな恵みの分かち合いとなりますようにお祈りしております。

しかし年々保育ニーズは多様化し、担う職務内容も変化し、毎年何らかの工夫や新たな試みをしなければ前に進めない現状があるのではないのでしょうか？三歳児のオムツ率が増加し、いつまでも取れないオムツ対応一つとっても悩みます。生育環境の変化やコロナ禍による経験不足は、体幹の未熟さや思わぬ怪我をも誘発し、また欠席者がいることも日常となりました。それゆえ保育を進めて行くには、幾つもの課題を乗り越える力が必要です。しかし皆が必要なスキルを持ち合わせているわけではありません。限界を感じて心苦しくなることもあるでしょう。私も日々反省し自己嫌悪に陥ります。



キリスト教保育

全てが神様からの

GIFT

浅野記念御濠端幼稚園

主任 鈴木優

久しぶりの対面だけの講演会。今回は改訂された「キリスト教保育指針」の発行に携われた松浦浩樹先生をお迎えして学びの時を持つことができました。和やかな雰囲気に含まれ、冒頭では先生のお孫さん話に心が和み、その後本題である「キリスト教保育とは」についてお話を聴きました。

一九六五年の教育指針から二〇二四年の改訂版までの「キリスト教保育」の捉え方について詳しく伺い「保育に携わる全ての人がキリスト・イエスとの交わりに支えられながら意図的、継続的、対話的、反省的な実践をともに行う」ことが大切であることも再確認できました。

また、結果を早く求めることはせず、見えないものに目を注ぐ大切さ「きつと〇〇な人になるであらう」と待ち望む精神と祈りが大切である

ことも、普段我が園で大切にしていることと重なり、これからも大切に保育していきたいと思いました。また神様から与えられている一人ひとりの個性を大切にしたいという思いを「丸くなるな、星になれ」というキャッチフレーズを引用され、わかりやすくお話ししてくださいました。子どもたちは遊びが大切であり子どもの主体的な遊びは神様からの恵みが埋め込まれており、全てが神様からのギフトであり、神様が子ども達を愛しておられることをうれしく思いながら、その中で保育ができる喜びを忘れず、感謝を持って毎日をご過ごしていきたいと改めて感じました。



届ける前に 私たちから

片瀬のぞみ幼稚園

園長 横山流

私たちの幼稚園では毎月一回月末に「キリスト教保育」(通称キ保誌)の〈聖書にきく〉を通して次月の月主題聖句の理解を深める学びの時をもっています。まず、聖句につながる前後も合わせて皆で輪読します。次に、〈聖書にきく〉を読み合わせます。そして、牧師に解説していただき、最後に各々が感じたことを話し、終えています。大体三〇〜四〇分程度の学びとなります。各々がキ保誌を読み進めるだけでなく、皆で学び合う機会は私たちの幼稚園にとって、とても大切な時間となっております。保育者ひとりひとりの受け取り方が違い、その違いを認めつつ聖句にならって希望をもって来月も共に歩んでいこうという機会となるからです。

この本の表紙には「保育」という字が書かれていますので当然読み手の先生たちは、これを読んで理解しどのように子どもに届けようかと頭を抱えてしまいます。実際、私もその一人でした。しかし、何年も学びを続けていくうちにある思いを抱く

ようになりました。御言葉や〈聖書にきく〉や牧師の解説は私自身に与えられているのだと感じ始めたのです。そうすると「こうしなければいけない」という気持ちから「大丈夫、神さまが共にいてくれるから」という気持ちになれるのです。キリスト教保育の実践となると心と体が締め付けられるかもしれません。だから、聖句をまず初めに自身に与えられた言葉として受け止め、〈聖書にきく〉を通して自分の心に落とし、そして、仲間と分かち合いながら神さまと共に子どもたちとの生活に向かっていく力としていけると良いのではないのでしょうか。



キリスト教保育指針

【二〇二四年版】の使い方

聖マルコ幼稚園

園長 黒岩聖子

先日、キ保連神奈川部会開催の講演会「キリスト教保育の鼓動―キリスト教保育指針【二〇二四年版】の解説」に出席して参りました。講師は松浦 浩樹さんです。

【二〇二四年版】という題名に惹かれ早速購入。職員皆で読み進めることにしました。

職員は終業時間二十分前頃に仕事を終え、職員室に集まり輪読していきます。

読み終えると皆「うん、うん」と無言でうなづき合い、そして、「ふ〜」とため息をつき、その日の保育をそれぞれが振り返り、明日からの保育が少しでも良い方へ進みますようにと祈ります。意見交換や感想を伝え合うことはしません。

創立七十二周年となります我園の目指す保育は「今は主に結ばれて光となっている。光の子らしく歩きなさい。〜一人一人が大切な存在である子どもたち〜エフェソ人への手紙五章八節」です。

子どもたち一人一人は神さまから賜

物を授かっています。そしてその賜物を私たち保育者が、心の目をよく凝らし、じつと見つめながら〜ができる、できないではなく、「一人一人の賜物」を見つけていきたいと思っています。

理屈なしに純粹にまっすぐにイエスさまを見つめ、その光を体いつばいに受け、その輝きで周りを明るく照らしてくれる子どもたち。イエスさまは「神の国は幼子のような者の国である。」とおっしゃいました。キリスト教保育に招かれ、キリスト教保育に携わる私たちは、永遠に変わることはない「まことの光」を人々の前に輝かす光の子を育てる使命を担っているのではないのでしょうか。キリスト教保育指針【二〇二四年版】を読み進めながら子どもと保育者とが共に育つ保育を目指してまいります。



キリスト教保育の

幼稚園に入って

野毛山幼稚園

岩上杏樹

この度は、新任保育者歓迎会を開いていたありがたいがとうございました。このような会をきっかけに、たくさんの先生方と交流でき心から嬉しく思います。

私は、中学から大学までキリスト教の学校で過ごし、十年間キリスト教を学び、日々聖書のみことばに触れ、神様からの愛を受け過ぎてきました。松矢龍造牧師の説教や田名網仁先生のお話は大変興味深く、キリスト教保育について改めて考える機会になりました。

お二人の先生のお話から学んだことは、子どもに愛を持って接することの大切さです。私は今、子どもや保護者に対し、日々今の対応は果たして正解だったのか、毎日反省し悩んでいるばかりです。時には失敗し、どう接したらいいのか分からなくなってしまう自分を責め落ち込んでしまう瞬間もあります。しかし、お話での「失敗してもいい、毎日反省したり、悩んだりすることも必要だが一番大事なのは、笑顔で子どもを

迎えること」というお話から愛を持って接することが一番重要であると思いました。

今回のお話から、笑顔を絶やさず子どもたちに愛をもって接することのできる保育者を目指していきたいと思いました。そのために、自分自身が神様に愛されていることを覚え、ありのままの子どもたちを受け入れ、子どもたち一人一人を大切にしていきたいと思っています。



役員会報告

書記 酒井大志

◆神奈川部会総会

総会は四月十六日(火)午後三時より清水ヶ丘教会ミッションホールにて行われ、二〇二三年度事業報告ならびに決算が承認され、二〇二四年度計画案ならびに予算が承認されました。

出席二八園、参加者四十二名

委任状 十二園十九名・三校三名、

書面評決 四園七名

◆役員会

四月十六日(火)清水ヶ丘教会にて、四月二四日(水)野毛山キリストの教会にて、七月一日(月)に清水ヶ丘教会にて開催されました。

役員会にて、四月十六日(火)に開催された二〇二四年度総会議事録を承認いたしました。

長年役員の任を担って下さいました鈴木裕美先生(認高座みどり幼稚園前園長)が退職され、それに伴い前回の役員選挙で次点であった永瀬真澄先生(東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園)が役員に就任しました。

【役員紹介】

◎部会長

清水臣先生・戸塚ルーテル教会附属幼稚園

◎副部会長

中島聡先生・百合光の子幼稚園

永瀬真澄先生・東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園

◎会計

岡野きよみ先生・(認)捜真幼稚園

加部公子先生・鶴沼めぐみルーテル幼稚園

◎書記

酒井大志先生・野毛山幼稚園

島田美緒先生・浅野記念御濠端幼稚園

◎監事

佐竹和平先生・ドレーパー記念幼稚園

宮川周子先生・横浜本牧教会附属早苗幼稚園

◎プロジェクト委員会

鈴木直江先生・(認)関東学院六浦こども園

島義信先生・(認)宮の台幼稚園

新任歓迎会

四月二四日(水)野毛山幼稚園(野毛山キリストの教会礼拝堂)にて行なわれました。礼拝では松矢龍造牧師(ガンバーランド長老キリスト教会希望が丘教会)より説教をいただき、礼拝の後、田名網仁先生(希望が丘教会附属めぐみ幼児園)から新任の皆さんへ歓迎と励ましのメッセージがありました。

三十二園・百十二名参加



◆第一回講演会

六月十二日(水)清水ヶ丘教会礼拝堂にて、松浦浩樹先生(和泉短期大学教授)より「キリスト教保育の鼓動―キリスト教保育二〇二四年版の概説」というテーマでご講演いただきました。

三十二園・百十六名参加(会友一名含)。

◆第二回講演会

十月三十日(水)に予定しています。大漣知子先生(東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園・前園長)よりご講演いただきます。詳細については決まり次第お知らせいたします。

◇クリスマス礼拝

十二月四日(水)清水ヶ丘教会にて予定しています。

◇保育環境研修会

一月に予定しています。日程・内容については決まり次第お知らせいたします。

編集後記

今年の夏は酷暑で体温越えの危険な暑さが続いています。日々健康を守られてお過ごしのことと思います。一方、豪雨などの自然災害により辛く困難な状況にある方々を覚え、一日も早く復興していきますことを心からお祈りします。また、八月や六日九日十五日という川柳の通り、過去の戦争を忘れず、今なお戦禍にある国、世界に主による恒久の平和が訪れますよう心からお祈りいたします。145号は「キリスト教保育指針(2024年版)について」を中心に執筆していただきました。お忙しい中、ご協力くださいました先生方に心から感謝いたします。



◇発行日 2024年8月20日

◇編集者 神奈川部会 広報担当
七里が浜楓幼稚園
野毛山幼稚園

◇デザイン 永野絵理世

◇イラスト提供 七里が浜楓幼稚園